

# 第2期 日比地区福祉活動計画

---



日比地区全容（航空写真）

**日比地区社会福祉協議会**  
(日比地区福祉活動計画策定・推進委員会)  
**玉野市社会福祉協議会**





### (3) 地域を支える主な団体

#### ○日比地区連絡協議会

地区内28町内会(戸数606)と5団体で構成されるコミュニティ協議会です。年間を通して地区住民の交流と親睦を図るため、グラウンドゴルフ大会、防災避難訓練、夏祭り、盆踊り大会、精霊送り、敬老友愛訪問、お月見会、秋祭り、ウォークラリーの他、女性部では高齢者サロンなども行っています。

また、春秋の地区一斉清掃など地域環境美化にも取り組んでいます。少子高齢、人口減少の続く中で地区住民の皆が心触れ合うまちづくりに努めています。



#### ○渋川連合自治会

日比6丁目から渋川3丁目までの6町内会、人口743名、世帯数378(4月現在)で構成され、高齢化率49.5%という玉野市の中でも代表的な高齢化地域です。自治会活動としては渋川海岸のクリーン活動、共同墓地や地区一斉掃除、お盆行事、秋祭り、敬老会(2年に1回:渋川青年の家まつりと共催)、そして今年から始めた渋川ふれあいグランドゴルフ大会などがあります。

7月にコンビニがオープンしたことで地区での困りごと(買い物の不便さや夜の暗さ)は多少解消されましたが、高齢化と共に独居者や身体の不自由な方が増えてきて、ご近所の元気な方々の応援が必要になっております。



#### ○御崎シーサイド自治会

御崎シーサイド自治会は現在、453世帯、1,300人で構成され、団地内を6ブロックに分け、各ブロック長(副会長)と会長を選出、さらに、防犯部、環境衛生部、婦人部、文化体育部、愛育委員を各ブロックから選出、書記、会計等の約65名で、それぞれ分担して自治会を運営しています。

年間の主な行事は、最大のイベントとして毎年8月に実施する「納涼の夕べ・盆踊り大会」には、抽選会なども行われ、沢山の会員が参加する行事です。また、11月3日には会員から出展された手芸や絵画などの作品を展示する「文化展」、「防災出前講座」、敬老の日には75才以上の方に婦人部を中心に記念品を贈るなどの取組みが展開されています。

2年毎の役員選出に苦勞しており、自治会の仕事をスリム化して、原則、輪番で誰もが自治会役員の仕事を担えるようにする方向が検討されています。一方、高齢化も進行しており、自治会会員がお互いに無理することなく、協力し、助け合って、安心して暮らせる地域・自治会をどのように創っていくか、このことが今後の課題になっています。



#### ○向日比2丁目コミュニティ

向日比2丁目自治会は1町内~7町内各2名ずつの役員で構成されています。年間行事予定の主なものは地区住民の親睦と交流目的で春のクリーン作戦、春祭り、町内の溝掃除(向日比消防団に放水依頼)お盆前に六地藏の掃除。

水の浦の掃除、向日比1丁目、2丁目マリンヒルズ、日比中生徒参加協力により実施。夏は多目的広場の植木の水やり、8月15日には盆踊り大会御霊送り、秋にはクリーン作戦、秋祭り、市のグランドゴルフ大会に参加、カラオケ大会など予定しています。



### ○日比地区老人クラブ連合会

現在は「さつき会」「向日比城山クラブ」の二団体で構成している。向日比2丁目、渋川、シーサイド地区を連合会に組織出来ていないことが寂しい。

それぞれの単位クラブは、独自の活動(そうめん流し、もちつき大会、誕生会など)をしているが、日比地区老人クラブ連合会としては、ふれあい世代交流として日比地区ディスコン大会、二日比小学校の児童たちと、むかし遊びの会、凧作り・凧あげの会、フレンド集会に参加してむかし遊び、竹とんぼ飛ばしなどで交流を図っている。また、日比幼稚園でもむかし遊びの会に参加し、紙飛行機を折って飛ばしたり、コマ回しなどをしたりして交流している。

### ○愛育委員会

以前、「笑い」は脳の活性化、ストレスの解消、プラス思考、血液をサラサラにして老化防止に繋がると良いことばかりであることから、地域住民をお招きした出前講座を実施しました。出前講座では、岡山大学落語研究会の方に来ていただき、〔ぼっこう寄席〕を日比市民センターで実施し、当日お招きした地域住民の皆様からは面白かったと感想を頂きました。帰られる時も笑顔が絶えず、他の地域住民の方も元気を出してなるべく外に出る様になればいいと思います。

### ○民生委員児童委員会

14人の民生児童委員と2人の主任児童委員で構成されています。

各地区の75歳以上の高齢者に「命のバトン※1」の配布と、一人暮らし高齢者や子どもの見守り活動を行っています。地域における問題が発生した場合には問題解決に向けて話し合いや行政と連携を行うなどの活動をしています。令和元年からは身近な場所で民生児童委員と地域包括支援センター職員が相談をお受けしたり、ご自宅を訪問する「わがまち福祉相談会」を開始しました。また、栄養改善協議会と連携し、「給食サービス※2」を実施しています。地域の皆さんが安心・安全な暮らしを目指して活動しています。

※1:一人暮らしの後期高齢者や、後期高齢者のみで構成される世帯等に対して、本人と関わりのある親族の連絡先やかかりつけ医等を記入できる緊急連絡先カードの入った筒(バトン)をお渡しし、何かあった時にすぐ救急隊員等が情報を掴めるようにしておくもの。

※2:手作りお寿司を作り、一人暮らし高齢者の方に配布する活動。



### ○渋川地区栄養改善協議会

渋川地区栄養改善協議会は、現在20名の栄養委員が、地域の健康づくりのために活動しています。年間の主な行事は、「小学生親子食育教室」、「生活習慣病予防教室(又は、主に女性を対象とした骨粗鬆症予防教室、又は肥満予防教室)」、男性を対象とした「いきいき元気教室」、保育園児(年長組)の「親子食育教室」、昔ながらの手作りで「秋期大祭の甘酒を作り接待」等です。

バランスのとれた食事の大切さを、資料や調理、実食を通して感じていただき、少しでもお役に立てればと思っております。常々、このような教室に参加されない一人暮らしの方などに対して、何か良い方法はないかと感じております。



#### ○日比地区連絡協議会女性部

日比地区連絡協議会女性部は、平成29年に地区のコミュニティ活動の担い手として設立されました。

具体的には、日比地区の各種行事のお手伝いや、地区のサロン「なごみサロン」の運営を行うなど、少子・高齢化が著しい日比地区を活性化するために活動しています。

また、女性の地域社会への参加促進を図るなど、今後も地区の皆さんと協力し、住みよい地域づくりを目指して頑張ります。



#### ○第一向日比・深井コミュニティ

向日比1丁目自治会、深井団地自治会、深井町内会の3町内会、235世帯、約500人で構成されています。

自治会活動としては19街区の各街区委員が総務部、衛生部、婦人部、防犯部、青少年部などに分かれ役割分担し活動しています。

年間行事は春秋年2回のクリーン作戦、8月14日の盆踊り、秋祭り、グラウンドゴルフ大会などを行い住民の交流を深めています。

また、自主防災会では防災訓練の実施、防災手引き書の作成、資器材の購入なども行っています。

他の地区同様に住民の高齢化、交通手段の確保などが問題になっています。



## 2 日比地区の課題と福祉活動計画

### (1) 地域の目指す理念(スローガン)

#### 『えがお ひろがる まちづくり』

地域住民が気軽に集まれる場としてコミュニティカフェを実施したり、地域住民同士の支えあい組織である地区ボランティアセンターを設立しお互いに支えあい、いつまでも住み慣れた地域で生活できる「笑顔のひろがるまちづくり」を目指します。

### (2) 地域の課題と解決に向けた取り組み

課題	取り組み
<b>【人との交流を持たない】</b> 孤立しがちな高齢者や地域との交流が減少している。8050問題の様に、今後地域内で引きこもりの課題も増加してくる。「えがお」の様に気軽に集える場を増やしていく必要がある。	①コミュニティカフェの継続運営 ②既に実施している体操や趣味活動を応援(コミュニティハウス等を開放する、活動の広報誌を作成する等) ⑦地区ボランティアセンターの継続運営
<b>【子供との交流】</b> 地区社協が主体となる3世代交流のような活動ができないか。若い世代との繋がりを持って、これからの活動に継続性を持たせる。	③地域イベントを企画し、3世代交流を促進していく(ゴミ拾いイベントの企画) ④学校との協働について、子ども達の作品展や学習支援等を検討
<b>【移動支援・買い物】</b> 既に困っている住民が見られ、取り組みについては急務。地区のコンビニも1件無くなり、買い物先自体も減少している。	⑤買い物、病院等への移動支援の実施 ⑥移動販売の活用についてお知らせ(カフェとの連携も視野に入れる) ⑧市内で活動している移動販売業者とも協力し、買い物に困っている地域住民を支援
<b>【高齢者の生活】</b> 今後も高齢者が地域で生活していけるように、現在地域に広まっている地区ポラセンの新たな協力者を発掘し、活動を継続的に実施できる基盤を整備することが肝要である。	⑦地区ボランティアセンターの継続運営

### (3) 取り組みの年次計画

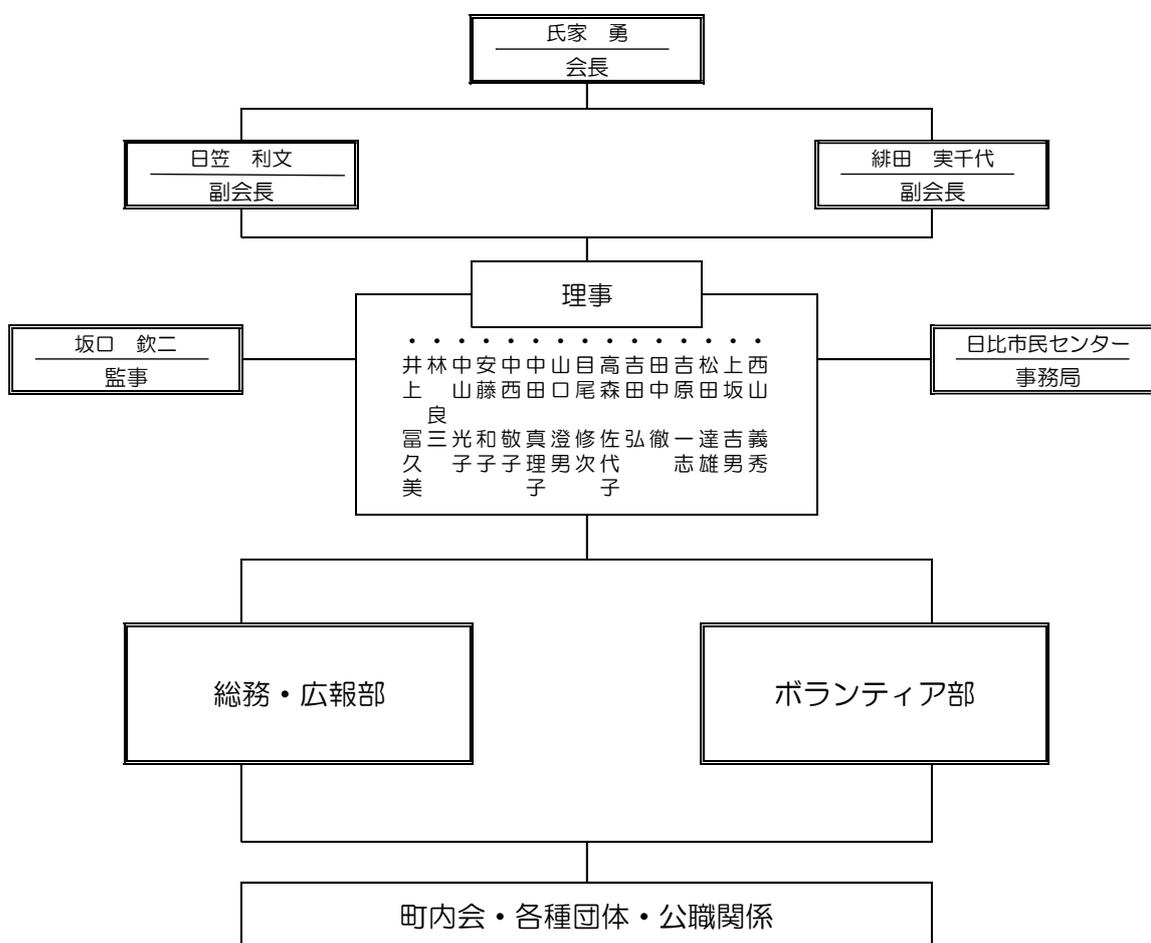
活動の内容	年次計画（年度）			連携する団体
	R4	R5	R6	
<b>①コミュニティカフェの継続運営</b>				
地域の憩いの場として機能している喫茶「えがお」を継続的に運営します。また、ランチやワンコイン居酒屋等を企画し、様々な住民が集まれる場づくりを実施します。	—————▶			
<b>②既に実施している体操や趣味活動を応援</b>				
地区内で実施している活動を整理し、会報等に纏めることで活動を応援します。また、集まれる場の候補を開放することで、活動のしやすさを促進します。	—————▶			
<b>③地域イベントを企画し、3世代交流を促進していく(ゴミ拾いイベントの企画)</b>				
3世代での交流を促進するため、子どもやその親世代と一緒に実施出来る活動を学校と協働しながら企画・実施します。	—————▶			学校
<b>④学校との協働について、子ども達の作品展や学習支援等を検討</b>				
学校と協働し、子ども達との接点を増やし、親世代との繋がりを強化します。また、子ども達の学習支援についても検討し、地域全体で子どもを育てる環境をつくっていきます。	—————▶			学校 行政
<b>⑤買い物、病院等への移動支援の実施</b>				
買い物や通院に困っている住民に対して、車での送迎を実施することで支援します。	—————▶			行政
<b>⑥移動販売の活用についてお知らせ</b>				
自分でお店まで行けない住民の為に、訪問販売を実施している事業所を紹介し、家の軒先での買い物を楽しんでもらいます。	—————▶			市内事業所
<b>⑦地区ボランティアセンターの継続運営</b>				
地域に浸透してきている地区ボラセン「えがお」を継続的に運営していけるように、新たなサポーターを発掘する等、組織基盤の強化を図ります。	—————▶			
<b>⑧市内で活動している移動販売業者とも協力し、買い物に困っている地域住民を支援</b>				
⑥の活動に関連して、まずは地区社協で移動販売を利用するまでの道筋を立てることで買い物支援をします。	—————▶			市内事業所

## (4) 計画の推進

本計画を推進するには、多様な担い手が連携を図りながら、それぞれの活動に取り組んでいく体制づくりが必要なために、日比地区では、地区内で活動する各種団体と市民センターとで構成するネットワーク「日比地区社会福祉協議会」を設置しています。この組織が中心となり、多くの住民の参画を得ながら、また、市社会福祉協議会より活動に関する情報やアドバイスの提供、財源の補助等の支援を受けながら計画を推進します。

日比地区社会福祉協議会 組織図

(令和4年 5月11日現在)



地区ボラセン「えがお」活動風景



喫茶「えがお」ランチ風景